

真校だより第119号 令和7年2月号

ふきのとう

神室スキー授業(1・2年生)～基礎からしっかり学ぶことができました～



2月7日・14日・21日の3日間にわたり、1・2年生(15名)が神室スキー場にて、スキー授業に臨みました。初日の7日は県内に暴風雪注意報が発令されるほどの過酷な気象条件でしたが、14日・21日と回を重ねるごとに天気も良くなっていき、最終日は絶好のスキー日和となりました。生徒たちは、当校教職員と外部インストラクター(旧職員の伊藤好彦様)の指導を受けながら、基礎基本からスキーの技術を習得していきました。当初はスキーの操作に苦戦していた生徒も、回を重ねるごとに慣れてきて、最終日には全員が課題をクリアできるレベルまで上達することができました。このスキー授業を通して、真室川校の生徒たちが、雪深い最上の地に生まれた者として、過酷な冬でも大自然を満喫しながら楽しく暮らす術を身につけてくれることを願っています。

東北農林専門職大学出前講座



1月30日(木)に、2年生の生物の授業に東北農林専門職大学の犬築先生をお招きして、「森林と林業の役割」に関するお話を伺いました。真室川町は森林が面積の9割弱を占める自然豊かな町です。森林は土砂災害を防止し、生物多様性を保全し、樹木を育てて私たちの生活に必要な木材を供給してくれます。また、樹木は二酸化炭素を吸収しながら育つため、燃料として燃やしても二酸化炭素が地上に戻るだけなので、環境に優しい資源です。林業、木材産業、きのこ・山菜、環境学習、レクリエーション、CO2排出権、バイオマス等、森林環境を活用した産業はますます可能性が広がっています。林業等に関心を持ち、地域資源を活かして活躍してくれる生徒が現れることを期待します。

地域探究発表会(1年)

1月30日(木)に、1年生の地域探究発表会が開催されました。1年生の9名は、3つのグループに分かれ、それぞれ「芸能」・「食(米)」・「交通(駅)」の観点から、真室川町の魅力について探究しました。生徒たちは、文献資料を読み込むだけでなく、町役場からご紹介頂いた方々から直接お話を聞くなど、貴重な体験をさせて頂きながら、今まで気づかなかった地域の魅力を再発見できたようです。また、当日は、探究学習に協力していただいた歴史民俗資料館館長の高橋様、前真室川駅長の松澤様にもご参観いただき、発表を聞いて頂きました。地域の皆様方のお陰で、生徒たちにとって大変有意義な活動になりました。



1・2学年キャリア学習講座～先輩たちの合格体験を聴こう！～

2月12日(水)に、3年生の合格体験を聴く会が開催されました。3年生の生徒たちそれぞれが語る進路決定までの体験談に、1・2年生はみんな興味津々な様子で聞き入っていました。3年生の生徒たちは、進路選択の際に重要視したこと、受験までに努力したこと、高校生活で身につけた力、もっと努力しておけば良かったこと、合格後に努力していること等について報告してくれました。後輩たちにとっては、非常に参考になる話ばかりだったと思います。この会を通じて、バトンを託された1・2年生の生徒たちが、これから自分の進路希望達成に向けてさらに意識を高め、必要な力をつけるための努力を積み重ねてくれることを期待します。



高校生就職ガイダンス(2学年)

2月6日(木)に、ランゲート株式会社の荒生多喜氏を講師にお迎えして、2年生向けの就職ガイダンスを開催しました。内容は、就職活動の基礎知識に関する講義、自己PR作成、コミュニケーション基礎演習、模擬面接と大変充実したものでした。模擬面接には、みんな緊張した面持ちで臨んでいましたが、講師からの励ましの言葉に勇気づけられながら、なんとか乗り切っていました。進路意識を高めるには持って来いの大変有意義なガイダンスになりました。



1学年進路を考えるDAY(税関教室)

2月17日(月)に、東京税関酒田税関支署監視官の藤田公也氏(真室川高校出身)を講師にお迎えして、進路学習を行いました。税関の役割や業務、輸出入に係る関税や知的財産に関すること、薬物乱用防止に関すること等、多岐にわたるお話をお聞きすることができました。大先輩が、社会の安全・安心のために日夜努力されていることを知り、生徒たちは良い刺激を受けていました。この学習会を通じて、1年生が自らの進路に関する意識を高め、奮起してくれることを期待します。



3学年キャリア学習講座(ビジネスマナー講座)+自由登校期間の各種講座

2月5日(水)に、株式会社ライセンスアカデミー仙台支社の八幡将平氏をお招きして、ビジネスマナー講座を開催しました。社会人として必要な挨拶や言葉遣い等のスキル、社会人としてのマナーやルールの説明を受け、改めて「働く」ということについて考えてもらいました。そして、最後に名刺交換の演習を行いました。3年生の生徒たちは、「もうすぐ社会人になる」という自覚をより一層高められたようです。

2月12日(木)には、「洋服の青山」の関根楓斗氏を講師にお招きして、スーツ着こなし講座を開催しました。伊藤藤伽君と荒川舞桜さんがモデルを務め、フレッシュなスーツ姿を披露してくれました。また、みんなでネクタイの結び方を練習した際には、なかなか要領がつかめず苦戦する生徒たちが多いようでした。



2月19日(木)には、山形県労働者福祉協議会の水澤孝秀氏をお招きして、「労働ハンドブック」の説明をして頂きました。「労働ハンドブック」は、新社会人になる学生や大学・専門学校などで修学しながらアルバイトで労働に携わる学生を対象にワークルールの基本を知ってもらうために作成されたものです。働く際の心構え、求人票の見方、労働契約、就業規則、労働組合、労働・休憩時間、休日、年次有給休暇、賃金、退職、解雇、雇用保険、労災保険、ハラスメント等トラブルへの対処法等、どれも今後の生活に絶対必要な知識ですのでしっかりと身につけて欲しいと思います。学校HP



1学年AED(救急救命法)講習会

2月19日(水)に、最上市町村圏事務組合消防署から講師をお招きして、1年生向けの救命救急法講習会を開催しました。講義と実習を通して、救急救命法を理解することができました。「人命を救うには日頃からの準備が絶対必要」ということをしっかり胸に刻み、もしもの時に実践できるようにしておきましょう。



最上地区ヤングボランティアフェスティバル

2月2日(日)に、最上地区ヤングボランティアフェスティバルが新庄駅ゆめりあで開催され、真室川校から町のボランティアサークル「ホップステップ」に所属する植木健吾君と五十嵐陽平君が参加しました。会場は500名を超える親子連れで大賑わい。二人は「くちばしマスク」ブースで沢山の子供たちを迎え入れ、楽しませていました。

